

「一億総活躍社会」

安倍政権がねらう社会は、心も体もボロボロの「活躍社会」ですか？

「新三本の矢」と並び、安倍政権が言う「一億総活躍社会」。臨時国会で説明すべきですが、国会開会を否定しています。その安倍政権が進める雇用破壊（派遣法の改悪や、残業代ゼロ制度）は、安上がりの労働者を「モノ」のように働かせる社会をつくるものです。

下の表をご覧ください。全日本教職員組合が2012年に実施した「勤務実態調査」結果です。公務労働者の一日の勤務時間は7時間45分ですが、教職員の本来業務を勤務時間内では到底終えることができない実態を示しています。みなさんの職場もこうした実態ではないでしょうか。日本の労働現場は、労働者の命を削る「献身的」な勤務によってかろうじて支えられているといっても過言ではありません。

「一億総活躍社会」というなら、まず、労働者の賃金を大幅に引き上げ、長時間過密労働をなくすべきです。

■下の表は、「クレスコ」2015.10号より

表 教員の一日

業務等の種類	小学校	中学校	高校	障害児学校
朝の業務	34分	36分	28分	37分
日常の業務	7分	6分	10分	9分
授業	5時間07分	3時間47分	3時間03分	4時間06分
授業準備	1時間18分	1時間19分	1時間48分	1時間15分
学習指導	10分	7分	15分	5分
成績処理	31分	37分	34分	6分
児童会・生徒会指導	3分	6分	3分	1分
学校行事	26分	34分	27分	24分
学年・学級経営	17分	23分	11分	10分
会議・打合わせ	37分	29分	26分	49分
事務・報告書作成	18分	23分	33分	44分
校内研修	7分	3分	2分	5分
校外研修	7分	6分	9分	3分
小計	9時間42分	8時間36分	8時間09分	8時間34分
生徒指導・進路指導	42分	60分	39分	38分
部活動・クラブ活動	5分	42分	47分	5分
保護者・PTA・地域対応	7分	7分	3分	7分
その他の校務	17分	25分	29分	29分
緊急の業務	1分	1分	1分	1分
時間計	10時間54分	10時間51分	10時間08分	9時間54分

(出所) 全教「勤務実態調査2012」

「南京大虐殺」の本質
に引き合わない日本
ユネスコ分担金の停止・削減は、世界の流れに逆行

「虐殺の数に固執する日本」
安倍首相は10月14日、中国に対し、「南京大虐殺」に関する資料を世界記憶遺産に登録申請したことには「遺憾」と伝えました。前日、菅官房長官は、世界記憶遺産に登録したユネスコに提出する分担金の停止・削減を「検討する」と述べました。その理由を「非戦闘員の殺害・略奪行為があつたことは否定できないが(犠牲者)数の断定は困難との立場だ」などと主張しました。南京大虐殺の犠牲者数について、中国は「30万人以上」とし、日本は「20万人を上限とし4万、2万などの推計がある」としています。

歴史の本質を重視したドイツ
日本と同じように戦後を迎えたドイツはどうでしょう。ドイツ政府は600万人という数字を受け入れ、これをドイツ人の責任の根拠、そして補償のための前提としている。「日本とドイツふたつの戦後」熊谷徹、集英社新書

「日本軍による集団的・個別的な虐殺事件が発生し、強姦や放火も頻発した」とは中国と日本が過去の共同研究で認めています。ドイツのように過去と真摯に向き合ってこそ、国際社会はその国を受け入れられます。安倍政権は過去と正面から向き合い、世界の国々と語り合うべきです。

過去と向き合う政治を
安倍政権がねらう「一億総活躍社会」は
女性部第25回定期大会
青年のとりくみ ソフトバレーボール大会

JMIU大新土木支部裁判 東京高裁で勝訴 ※詳細は、後日ニュースなどでお知らせします。

女性部第25回定期大会

10月9日、高校会館で長野労連女性部第25回定期大会を開催しました。

大会では議案の討議をするとともに、自分たちの周りで起きているさまざまな問題を報告しあい、交流しました。

介護保険の相次ぐ改悪の中で、働き続けられなくなってしまった若い介護職員たち、教員の数が減らされ、毎日睡眠時間4時間で授業もクラブ指導もしなくてはならない学校現場、また、どの職場でも非正規雇用が増える中、病院の外来でも半分以上がパート職員で、夜勤は少ない正職員だけで回さなければならない看護現場の問題。そしてパートのみなさんの厳しい労働実態。各組合からの発言はどれも「人間らしく働きたい」という悲痛な叫びでした。職場の中だけでは解決できないことばかりです。みんなで問題を共有し、手をつないで、声をあげ続けていくことが大切です。

今、戦争法をはじめ辺野古基地移転問題、TPP、社会保障の大改悪、労働者派遣法改悪、子どもの貧困問題、消費税増税、原発再稼働等々、命と暮らし、そして民主主義が脅かされる状況が広がっています。しかし、戦争法案廃案の、世代や立場を超えた闘いに象徴されるように、民主主義を守れ！の国民の声は、かつてない規模で全国に広がっています。私たちはここに確信を持ち、あきらめず、平和と人権を守るために働く女性の力を合わせ、がんばることを確認しあいました。

長野労連女性部 事務局長
田村昌美(長野医療生協労組)



大会代議員みんなで「団結ガ
ンパロウ！」

青年のとりくみ

ソフトバレーボール大会

長野労連青年部の呼びかけで、青年のとりくみ「ソフトバレーボール大会」を10月10日(土)、綿内小学校体育館で開催しました。参加人数は28人と昨年度に比べると約1.5倍に増え、賑わいました。

ソフトバレーボールは初めて、という人たちもいましたが、男子ジャンプ禁止！という素敵なルールもあり、ジャンプOKの女性陣には、トスが上がるたび「ジャンプ!ジャンプ!」の声がけがあり、参加者全員で楽しむことができました。始めはラリーがなかなか続かず、サーブが強いチームが優勢でしたが、徐々にチームワークもボールへの反応も良くなり、白熱したラリーが展開されだしてからは1点を争う好ゲームが多かったです。互いに声をかけあう場面やハイタッチをする場面も見られ、大会は大成功に終わりました。

気持ちのいい汗をかいた後には、毎年恒例となっている鮎レストラン大政で交流会を行い、22人が参加しました。豪華なお寿司をかけたチーム対抗ゲームなどで交流を深め、各団体の紹介や実状などを熱く語り合う良い機会となりました。

ソフトバレーボール大会&交流会が大成功に終わったのも、各団体・組合から集まってくださった皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。これからも青年活動の活性化を目指して様々な取り組みを行い、交流を深めていきたいと思えます。

長野労連青年部 部長
高野 優(長野医療生協労組)



競技終了後、みんなで記念撮
影「お疲れ様でした」

誘い合って、みんなで参加しましょう

■学習会 平和と暮らしを壊す国づくりは許さない -戦争法廃止、働くルール守れ-

10月29日(木) 18:15~20:00 高校教育会館大会議室

■宣伝行動 私たちはあきらめない!戦争法廃止!安倍内閣退陣!

11月19日(木) 18:00~18:30 長野駅前(善光寺口)

詳細は、配布したチラシをご覧ください。